

No.93

■発行／奈良市議会
■編集／奈良市議会だより
編集委員会



〒630-8580
奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会事務局
☎(0742)34-4734

奈良市議会だよりは年4回(2月、5月、8月、11月)の発行予定です。



快晴の下、元気いっぱいスタート(世界遺産平城宮跡)

12月定例会

事務事業の再編整理等を主眼に 平成20年度予算編成に着手

長期債の元金繰り上げ償還とは

高金利(5%以上)の地方債の負担軽減のため、行政改革や経営改革を行う地方公共団体を対象に、平成19年度から21年度までの3年間、公的資金の補償金なしの繰り上げ償還及び借り換えが認められました。

削減効果額

繰り上げ償還総額

平成19年度	約42億3400万円
平成20年度	約36億6900万円
平成21年度	約43億7300万円
合計	約122億7600万円

借換債の年利率を2%とした場合

利子軽減額累計

約22億7700万円

今回の補正予算では、一般会計で、後年度の利子支払いの軽減を図るための長期債の元金繰り上げ償還に係る所要額のほか、退職手当の増、人事院勧告を受けて一般職の職員の給与改定に伴う所要経費など22億7653万円、また5特別会計で23億4093万8千円、2公営企業会計で4億5786万4千円の増額となっています。

この定例会には、市長専決処分の報告1件のほか、一般会計、5特別会計、2公営企業会計の補正予算、条例議案5件、また公の施設の指定管理者の指定を行うための議案として103件など合わせて127議案が提出され、いずれも原案どおり可決しました。

一般会計予算補正額は

22億7653万円

本市議会は、平成19年12月定例会を12月7日から14日までの8日間の会期で開きました。招集あいさつの中で藤原市長は、「平成20年度の予算編成に着手しているが、市税の大幅な増加は期待できず、地方交付税などの歳入の確保も厳しい状況にある。しかし、行政の責務を果たし、真に市民にとって必要なサービスを提供し、将来の都市像を具体的に実現するための諸施策を推進する必要がある、事務事業の再編整理等の行財政改革の方策を主眼において進めていきたい」との方針を示しました。

弁 問 と 質 本 会 議

老春手帳優遇措置など
市政の課題について議論

12月12日、13日、14日の本会議では、13人の議員（うち代表質問6人）が質疑・一般質問を行いました。今定例会では、老春手帳優遇措置の制度改正や妊婦健康診査の公費負担、緊急地震速報の伝達、緩和ケアへの取り組みなどについて質問がありました。以下は、質問と答弁の要旨です。

（代表質問には会派名記載）

保健福祉

民の理解を得ながら本制度を継続するために、次回更新時にはどのような方向性で改正しようと考えているか。

答 利用状況に応じて一定の負担をいただくことが、制度の安定的な運営には必要と

老春手帳優遇措置
制度改正の方向性は

政 翔 会



ICカードの利用方法のお知らせと読み取り機

安全確保は市の責任で
バンビーホーム時差勤務体制

日本共産党奈良市会議員団

問 バンビーホームの時間延長は、平成20年度、全ホームで午後6時まで、指導員の時差勤務を導入して実施するとの考えが示された。時差勤務は、子どもたちが学校から帰ってきて殺到する時間に指導員の体制が手薄になり、子どもの安全確保の点で問題が出てくる。安全確保は市の責任で進められるものであると考えるが、また、安全確保の

面からも人員補充が必要ではないか。
答 子どもを安全に保育することは最優先されなければならない。時差勤務体制については、学童保育の安全性が損なわれることのないよう実施体制を含めて十分検討し、子どもたちの健全な育成と安全確保に支障を来さないよう、必要に応じ人材の確保も含めて検討していく。

妊婦健康診査
公費負担回数の拡充を

公明党奈良市議会議員団

問 妊婦の健康診査は、保険適用がされないため、6万～7万円程度の自己負担の経済的理由から受けない妊婦が増え、飛び込み出産される危険なケースが増えている。厚生労働省は、現状2回程度の妊婦健診への公費負担を最低5回分公費で負担するよう自治体に要請している。

答 母体や胎児の健康確保を図るため、妊婦健康診査の受診勧奨を行うとともに、経済的負担を軽減するため、他の中核市の動向も考慮に入れ、公費負担の回数を増やす方向で前向きに検討していきたい。

障がい者の雇用促進へ
採用の拡大を

問 本市が平成20年度から初めて知的障がい者を採用す

まちづくり

ならまち内の市道
カラー舗装の再整備を

問 ならまち内の市道のカラー舗装も20年が経過し、一部で黒アスファルト舗装に改修している。周辺住民からは

ならまちの景観になじむカラー舗装をとの声も多く、再整備を図るべきと考えるが。
答 ならまちの舗装については、町並みや都市景観に配慮したカラー舗装が望ましいことから、ヒートアイランド現象を抑制して地球環境にも優しいとされる保水性のあるカラー舗装の導入を考えており、グレー色の保水性舗装を試験的に施工する。



グレーにカラー舗装されたならまちの市道（東木辻町）

西の京のまちづくり
駅前広場の整備は

問 西の京地区は歴史的環境に恵まれ多くの観光客が訪れるが、そこで生活する市民にとっても住みやすいまちでなければならない。近鉄西ノ京駅前広場や周辺道路の基盤整備に対する要望も寄せられており、駅前広場の整備をどのように進めるのか。
答 西の京地区は駅前広場や道路が狭く、生活交通と観光交通が交錯していることから、道路等の基盤整備の検討を行ってきた。平成19年度、国庫補助事業の歴史的環境整備街路事業調査の採択を得て、整備計画を策定している。

駅前広場は、駅東側に公共交通の拠点機能のほか、鉄道利用者の送迎にも対応でき、来訪者に憩いと安らぎを与える空間を持った広場になるよう計画していきたい。

ることは、障がい者やその家族・関係者に大きな朗報となっており、民間事業所も含め、障がい者雇用を促進していくスタートしなければならぬ。建設計画のある保健所等複合施設、出先機関、外郭団

体等での採用も検討すべきである。
答 障がい者雇用の促進について、地方公共団体は民間企業に率先垂範して推進すべき立場にある。保健所等複合施設内に設け

市民生活

市立奈良病院の建て替えで
がん治療緩和ケアへの取り組みは

創政会

期から末期までさまざまな治療や予防、最終的な緩和医療があるが、緩和ケアに対しての取り組み方は。今後の建て替えや施設を充実させる上で、どのように取り組む考えか。

答 市立奈良病院のがん治療は、化学療法室の整備、診断装置の更新、放射線治療器リニアックの稼働、専門医の確保等と特に力を入れてきた分野である。今後も地域がん診療拠点病院を目指し、緩和ケア等についても研究、推進していききたいと考えている。

問 市立奈良病院将来構想の中にがん診療拠点病院を目指し、それに伴う整備を進めるとある。がん治療には、初

緊急地震速報
瞬時に市民・観光客へ

市民クラブ

問 東南海沖地震がいつ起きてもおかしくない状況にある。観光客の多い奈良市にとって緊急地震速報は重要である。

大抵の人は仕事でテレビを見ていない状況にないと思われるので、緊急地震速報をいかに早く伝えるか、その方法を考えるべきでは。

答 緊急時には、市民や観光客等に対して緊急情報を早

く周知し、迅速に身の安全を図っていただく必要がある。そのため、緊急地震速報など対処に時間的余裕のない状況が発生した場合、通信衛星を用いた情報を送受信し、市民等に緊急情報を瞬時に伝達することができる全国瞬時警報システム（Jアラート）の運用を含めた同報系行政無線の整備に向け年次計画を策定し、順次整備していきたい。

行政姿勢

労働条件の保障
公契約条例で

問 近年、国主導の下に行財政改革が進められ、市の職場にも臨時職員、パートの職員が増えている。その賃金は正規職員に比べ大変低く、また民間委託も増えてきており、年次休暇などの労働条件も保障されているかどうか把握

教育

都祁複合施設の幼保施設
平成22年度開園目指す

政友会

できていない。市が発注する委託や公共工事のあり方が問われており、公共事業の請負なども含めて、公契約条例を作るべきではないか。

答 公契約条例は、公共工事や業務委託に従事する労働者の賃金や労働条件を、市と受注企業者が締結する契約の中に義務付ける内容の条例であると認識している。

公契約制度がどのように位置付けられていくのか、国の動向を見ながら、内容等を研究、検討していきたい。

していただきたいと考えるが。

答 新市建設計画に幼稚園の新設、保育所の統合整備が盛り込まれ、都祁複合施設の一環として幼保施設の建設を計画し、幼保機能を一体化した認定こども園とすることとし、検討している。

現在、園児数を推計し保育室、給食室、トイレやその他の幼保施設として必要な部屋と面積を計算し、建物の概要ができたところであるが、平成22年度開園を目指し事業推進を図りたい。

中学校給食

PRが必要では

問 中学校給食は、弁当を持参できない生徒にも温かく、栄養バランスの取れた昼食を提供でき、今後も共働きの家庭が増える中で、必要性はますます高まってくると思うが、弁当を持ってこれない生徒

の中には給食を利用せず、コンビニ弁当を食べている者もいる。食育の観点からも、学校給食を根付かせることは大切であり、まだまだPRが必要ではないか。

答 現在、一カ月単位でカラーの献立表を全家庭に配布しており、レシビの説明、カラー表示、季節ならではの献立の紹介等、食べて楽しい給食のPRや、地元産品を活用するなど、食の安全・安心面でのPRを行っている。

今後、定期的にアンケート調査を実施し、その意見を参考に、生徒が食べてみたい給食へ工夫を重ねていきたい。

激増するネット犯罪から

子どもたちを守るために

問 激増するネット犯罪から子どもたちを守るためには、

学校関係者や保護者にネット被害の現状と対策を知っていただくことが重要である。その有効な施策として、小学校区単位で、子どもを保護者自身の手で守り育てる市民インストラクターの養成が早急に必要と考えるが。

答 携帯電話やインターネットにかかわって被害者となる子どもが後を絶たない状況下では、教職員や保護者を含めた周りの大人が、適切な対応を行っていくことが不可欠であると認識している。

本市では平成20年度、市立小・中・高等学校の教員と保護者を対象にインストラクタ

ー養成の集中講座を計画しており、各学校や地域で被害防止や啓発の担い手として活動していただきたいと考えている。

観光

歩く観光コースの
開発と環境整備は

問 近年、観光のスタイルが大きく変化し、歩く観光も見直され始めた。健康志向のウォークを取り入れた旅行や地域の生活、自然、文化、歴史に触れる旅への変化が著しくなってきた。受け入れる側でも、住民が主体となって観

光による町おこしをする地域が増加している。

本市でも、歩く観光のコース開発やテーマ開発を行うとともに、ガイド育成や道標、トイレなどの環境整備が必要と考えるが。

答 現在、滝坂の道や歴史の道、特定団体が作ったモーニングウォークのコースも好評を得ているが、さらに細かいコースの提供が求められている。平成20年度の早い段階でプロジェクトチームを組織し、歴史と文化遺産の魅力、町並みや文化、暮らしぶりを、自然の美しさなどを生かした歩くコース作りに取り組み、環境整備を行うため関係機関とも調整を進めていきたい。



歴史の道の案内板（春日野町）

請願

今定例会に提出された請願書は次のとおりです。

▽市立奈良病院にホスピス施設設置に関する請願書
請願者Ⅱ

奈良県ホスピス勉強会

会長 馬詰 真一郎氏

（厚生委員会付託）

その他主な
質問事項

- 指定管理者の更新
- 遷都1300年記念事業
- 路上喫煙防止条例
- 平成20年度予算編成
- 改正DV防止法
- 救急体制の整備と病院事業
- （仮称）地域安全条例案
- 後期高齢者医療制度
- 観光PRキャンペーンの観光協会との連携
- 全国椿サミット奈良大会
- 農業振興を中心とした地域振興策
- 保健所等複合施設と景観問題
- 世界遺産学習の現状と今後
- 学校避難所設備
- 発達障がい児の支援

主 な 議 決 結 果

12月定例会で議決したその他主な議案は、次のとおりです。

件 名	結 果
◇奈良市情報公開条例の全部改正 市民の知る権利及び市の説明責任を明記し、情報公開の対象となる行政文書の定義の拡大、開示請求権者の範囲の拡大等、条例を全部改正	可 決
◇奈良市総合福祉センター条例の一部改正 みどりの家歯科診療所を市の直営施設とするための所要の改正	可 決
◇奈良市中心身障害者医療費の助成に関する条例等の一部改正 学校教育法の一部改正に伴う引用条文の整理	可 決
◇奈良市地域ふれあい会館条例の一部改正 とみの里地域ふれあい会館を市の直営施設とするための所要の改正	可 決
◇奈良市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正 国に準じて一般職の職員の給与について所要の改定	可 決
◇財産の取得について （仮称）合併記念公園整備事業用地（奈良市都祁馬場町）の取得	同 意
◇奈良県市町村会館管理組合の解散 平成20年3月31日をもって解散	可 決
◇奈良県市町村会館管理組合の解散に伴う財産処分 すべての財産を奈良県市町村総合事務組合に帰属させる	可 決
◇奈良県市町村総合事務組合への加入 奈良県市町村会館の管理、設置及び運営に関する事務を共同処理するため、規約を定め、平成20年4月1日から加入	可 決

議 会 情 報

奈良市議会の1年

（平成19年1月～12月）

定例会の会期は延べ54日間

平成19年は次のように4回の定例会が開催されました。
3月定例会（3月5日～22日）
6月定例会（6月4日～13日）
9月定例会（9月4日～21日）
12月定例会（12月7日～14日）

議案232件、諮問5件、報告39件等を審議

この1年間に市長から議案232件、諮問5件、報告39件が提出され、審議の結果、原案可決215件、認定4件、同意18件、承認4件、報告35件となりました。
また議員が提出した議案は3件で、すべて可決しました。
このほか、議会選挙3件などがありました。

質疑・一般質問に53人登壇

平成19年中における質疑・一般質問には延べ53人（うち代表質問23人）の議員が登壇し、議案及び市政全般にわたる項目について質問し、論議が行われました。

意見書1件

本会議で可決した意見書は1件でした。

請願1件

提出された請願は1件で、厚生委員会に付託しました。なお、閉会中の審査が行われます。

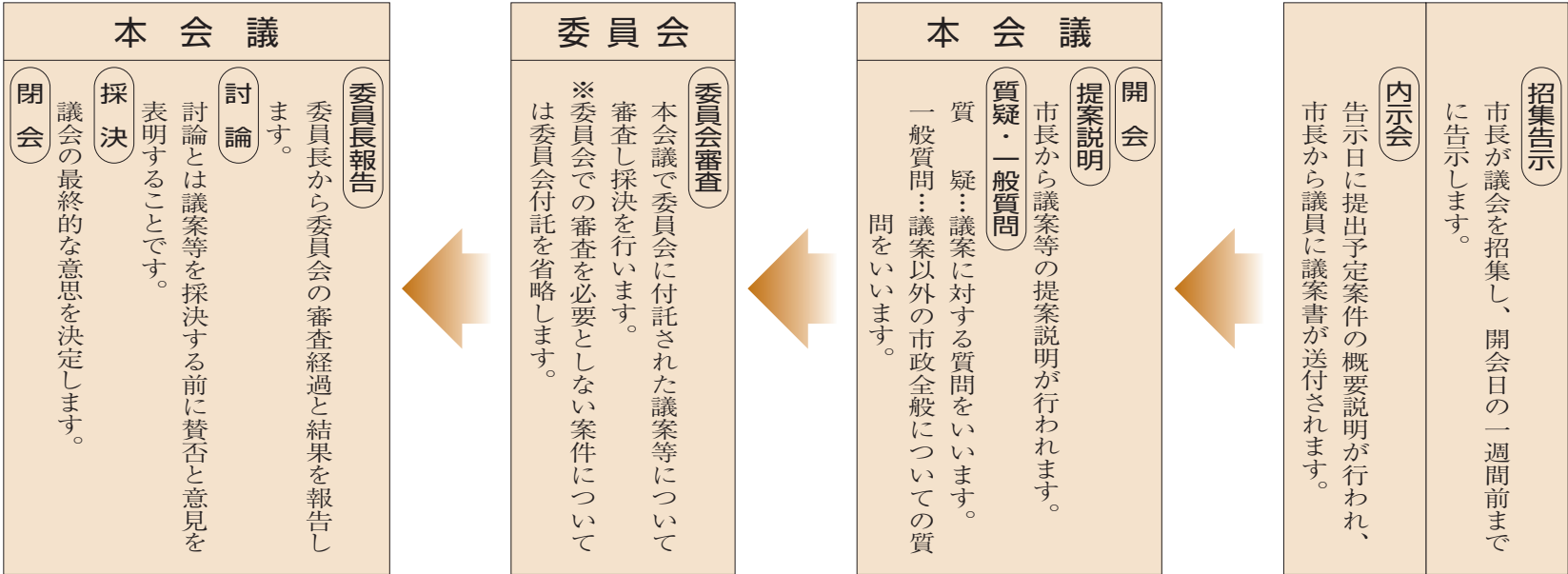
陳情10件

提出された陳情は10件でした。

傍聴者は243人

本会議を傍聴された方は、3月定例会63人、6月定例会77人、9月定例会57人、12月定例会46人の合わせて243人でした。

奈良市議会定例会の主な流れ



本会議を

傍 聴

してください

本会議には定例会（3月、6月、9月、12月開会）と、必要がある時に開く臨時会があり、傍聴人受付簿に必要事項をご記入いただきますと傍聴することができます。傍聴席は、車椅子用のスペースを含めて81席です。
また、本会議の様子は、市役所1階ロビーと西部出張所ロビーのモニターテレビでも放映しています。
なお、傍聴に関する手続き、日程等ご不明な点は議会事務局（☎34-4791）へお問い合わせください。



本会議での質問・答弁

詳しくはホームページか
会議録で閲覧を

本会議での議員の質問や理事者の答弁内容を詳しく知りたい方は、市ホームページの市議会会議録をご覧ください。市議会事務局、中央・西部・北部の3図書館で、会議録を閲覧していただけます。12月定例会の会議録は、3月上旬にできる予定です。



市ホームページ
(<http://www.city.nara.nara.jp>)